

# 津ライスニュース 平成28年産第4報(通算第106号)

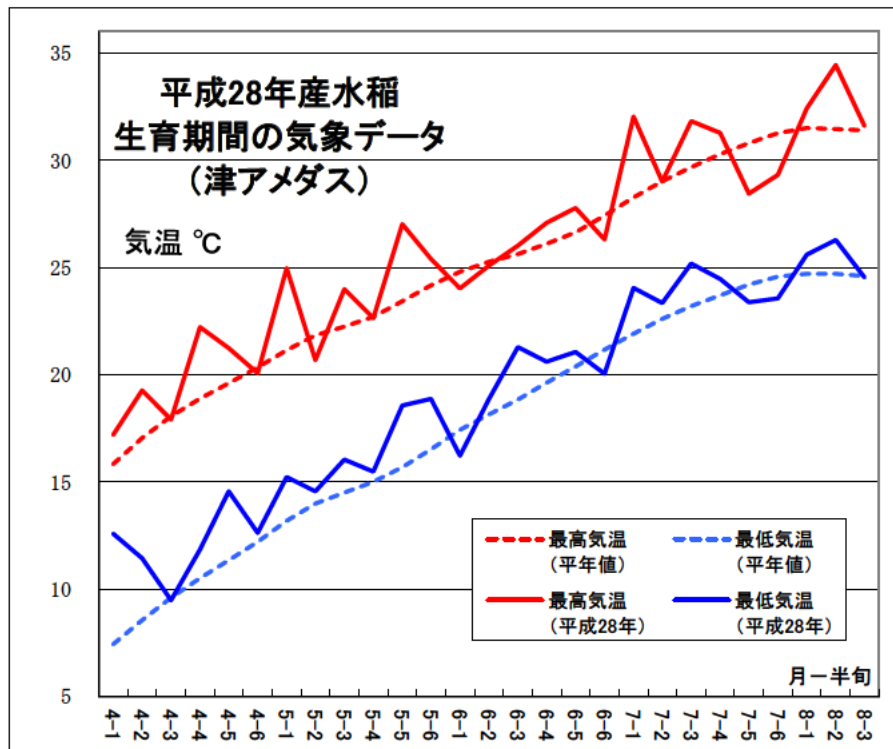
平成28年8月15日

津地域農業改良普及センター 電話:059-223-5103

## 気象経過

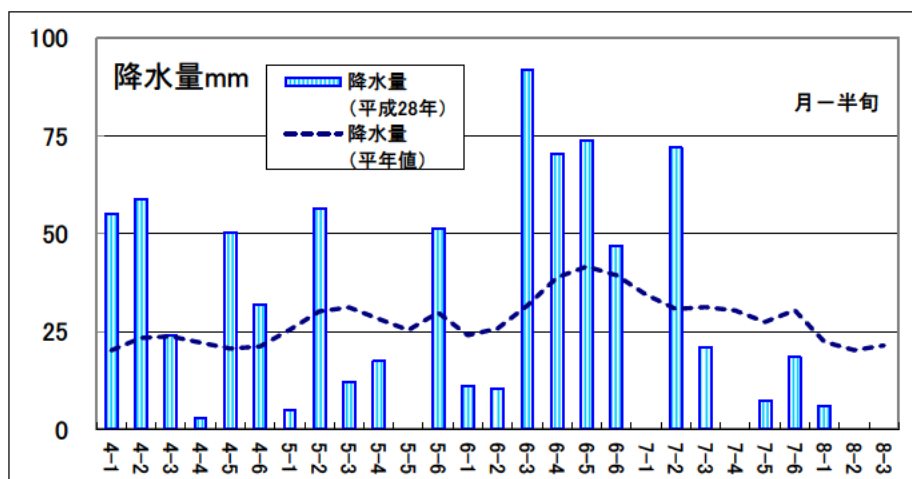
### <気温>

4月以降、気温は高めに経過し、6月は平年並みとなりました。7月下旬に一時的に平年以下の気温となったものの、7月以降高温傾向で推移しています。



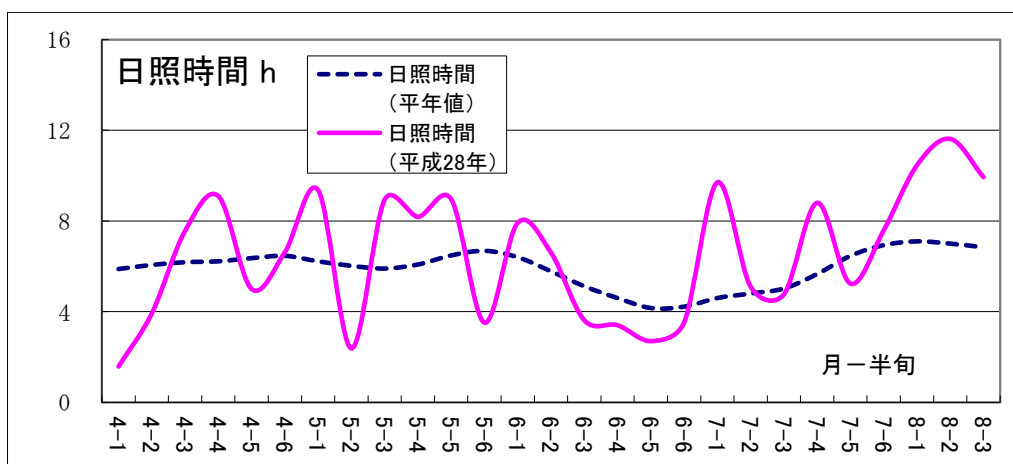
### <降水量>

4月および6月は雨が多く、平年を上回る降水量となりました。しかし、7月中旬以降記録的な少雨が続いています。



## <日照時間>

日照時間は、4月・5月は平年並みとなりましたが、6月は曇天傾向が続いた影響で、平年以下となりました。7月以降は晴れた日が多く、日照時間は平年を上回っています。



## 生育の概況

津管内の生育状況は、稈長がやや長い傾向となっています。この影響で、倒伏しているほ場が散見されます。

出穂期は、平年並みまたは数日早い傾向となっています。

### ○水稲生育基準田の調査結果

【平成28年8月12日現在】

品種	調査地点	移植日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数		出穂期
					(本/m <sup>2</sup> )	(本/株)	
コシヒカリ	殿村	4月21日	97	17.8	347	27	7月17日
	安濃	4月25日	83	20.5	262	18	7月20日
	一志町井生	4月29日	84	18.3	304	16	7月17日

### 【参考】前年同時期の調査結果

【平成27年8月19日時点】

品種	調査地点	移植日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数		出穂期
					(本/m <sup>2</sup> )	(本/株)	
コシヒカリ	殿村	4月21日	90	19.8	283	23	7月10日
	一志町井生	4月25日	85	18.2	424	22	7月20日

## 今後の栽培管理

### <水管理>

- ・出穂後から収穫7日前までの期間は間断灌水を続けます。水をかける場合はなるべく夕方に行いましょう。
- ・水の溜めすぎは根の老化や根腐れの原因となります。(根数は出穂前20日頃に最大となり、出穂期には新根がほとんど出なくなります)
- ・早期落水は未熟粒や胴割れ米等が多発し玄米の品質が低下するので、落水は収穫前7日以降としましょう。(玄米の大きさは開花後25日頃に決まります)

### <適期収穫>

- ・穂の基部に緑色籾数が3～4粒程度残る頃が収穫適期です。また、コシヒカリでは籾水分が26～28%の頃が収穫適期となります。
- ・早刈りは未熟粒(青米や充実不足)の増加、刈り遅れは茶米や胴割粒の増加となり、いずれも品質が低下します。本年は高温・多照傾向のため、成熟期が早まる傾向にあります。品質向上のために適期収穫を励行しましょう。

### ○水稲生育予測 【平成28年8月13日現在】

品種	移植日	出穂期 (平年との差)	成熟期 (平年との差)
コシヒカリ	4月25日	7月18日 (1.7日早い)	8月22日 (0.1日早い)
	5月15日	7月30日 (0.2日早い)	9月1日 (1.0日早い)
	6月10日	8月19日 (0.2日遅い)	9月24日 -
みえのゆめ	4月25日	7月28日 (2.2日早い)	9月2日 (2.0日早い)
	5月30日	8月20日 (2.3日遅い)	9月23日 (3.0日遅い)
三重23号	4月25日	7月14日 (1.6日早い)	8月17日 (0.7日早い)
	5月15日	7月27日 (0.6日早い)	8月29日 (0.8日早い)

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点データ(直近10ヶ年の平均気温)を使用しています。